

令和4年度 生徒指導基本方針

- 1 目 標 自己指導能力の育成「自律した生徒の姿」の具現化
中学校での生活に誇りを持たせ、安心・安全で、落ち着いた雰囲気のある学校をつくる。
よい生活習慣を身に付け、社会で通用する人格形成を目指す。

- 2 具体目標 「 **自分を大切に、他人を思いやる** 」

- 3 取り組み
 - (1) 自分を大切にする
【安全・安心な居場所をつくる】
 - ・決まりを守る生徒を育成するために、生徒指導規定の確認と徹底を図る。
 - ・自分自身のことが好きな生徒を育てる。

 - (2) 他人を思いやる
【お互いの個性を認め合い、互いを高め合える集団を育てる。】
 - ・年2回以上のアセス実施を行い、その結果をもとに生徒との個人面談を実施する。
 - ・SSTを生かした学級活動を行い（生徒に参画させる）、良好な人間関係をつくるきっかけとする。
 - ・相手を傷つけるような言葉ではなく、思いやりのある言葉がけを学校生活や授業の中で意識させる。

- 4 その他
 - (1) いじめ撲滅キャンペーンを行い、いじめの不当性(卑怯)について考えさせる。
 - (2) アセス調査やいじめ・体罰についての生活アンケート調査を定期的に行い、いじめや問題行動などの問題の早期発見・早期対応に努める。
 - (3) 教育相談委員会を充実させ、休みがちな生徒に対して、チームで取り組みをする。
 - (4) 生徒指導の三機能を取り入れ、存在感・充実感をもたせる授業を行う。
 - (5) 生徒会委員会活動の充実を図る。
 - (6) 各行事でリーダーの育成、学級・学年の集団づくりを図る。(実行委員会による運営)
 - (7) 体育大会や部活動等、異年齢の集団活動を通して、上級生がよい見本となり全体を引っ張っていくことで向島中学校の伝統を築いていく。
 - (8) 意識や実態の小さなズレを、学校全体で統一したものにしていく。(各種規定の再検討)